



## 外航海運業における遠隔操作ロボット技術の導入検討に関する覚書を締結

株式会社メルティン MMI（代表取締役：粕谷昌宏、本社：東京都中央区、以下「MELTIN」）は株式会社商船三井（代表取締役社長：橋本剛、本社：東京都港区、以下「商船三井」）と、外航海運事業、それに付随する関連事業、および海洋事業（以下まとめて「外航海運事業」という）における船舶設備への遠隔操作ロボット（註1）設置・導入を目指し、覚書を締結しました。

（註1）遠隔操作ロボットのイメージ



<https://www.youtube.com/watch?v=e2sEGQFOqak>

本覚書は、商船三井が取り組む外航海運事業に関し、MELTIN が開発を進める遠隔操作ロボット技術の導入を見据えた共同検討を行うことを目的としています。

海運業界では、海難事故や人身事故などを未然に防止し安全運航を実現することはもちろんのこと、顧客のニーズに応える輸送サービスの品質向上が課題となっており、自律運航や遠隔操作といった新たな技術を取り入れることによって解決を図る、中長期的視野からの取り組みの重要性が高まっています。また、MELTIN の遠隔操作ロボット技術は、危険作業、長時間作業、高温・低温環境等の人による作業が難しい領域での活用を想定して開発が進められているため、本技術の導入により船員の労務負担が軽減することも期待できます。

MELTIN と商船三井は、かねてより、MELTIN の遠隔操作ロボット技術を導入することにより、外航海運業界の多岐にわたる課題を解決する可能性について検討を重ねてまいりました。また、近年、海上における船舶向け高速通信環境の整備が着実に進んでおり、近い将来、MELTIN の持つ遠隔操作ロボット技術とのシナジーが期待されます。その為、この度、

遠隔操作ロボット技術の導入に向けた戦略的な関係の構築、およびより詳細かつ具体的な検討を進めていくこととなり、両社間での覚書締結に至りました。

今後は、遠隔操作ロボットや関連技術の導入を検討していく船種や航路の特定に向けた具体的な内容や、海上で必要となる通信技術の導入見通し・要求レベルの検討のみならず、実際の使用を想定した PoC（Proof of Concept：実証実験）の実施を視野に、両社で更なる協議・取り組みを推進していきます。

#### <参考情報>

##### 1) 株式会社メルティン MMI：会社概要

2013 年設立。東京都に本社、福島県南相馬市に開発拠点を構える、生体信号・ロボット技術を利用したサイボーグ事業を行うベンチャー企業。2018 年にコンセプトモデルとなるアバターロボット「MELTANT- $\alpha$ 」、2020 年に実証実験機である「MELTANT- $\beta$ 」を発表。経済産業省によるスタートアップ支援プログラムである「J-Startup」認定企業。

Website：<https://www.meltin.jp/>

##### 2) 株式会社商船三井：会社概要

1884 年設立。東京に本社を置き、130 年以上の長い歴史に裏付けられた確かな技術と経験を基盤とし、世界有数の規模を持つ船隊により、多彩な輸送ニーズに応える総合輸送グループ。安全運航を支えるツールの更なる充実、環境負荷低減の深度化といった目的に向け、ICT を活用した技術開発を推進している。

Website：<https://www.mol.co.jp>



MELTIN の人型遠隔操作ロボット  
(MELTANT- $\beta$ )



商船三井の自動車船  
(BELUGA ACE)

#### お問い合わせ

株式会社メルティン MMI

担当：遠藤 E-mail：[envision@meltin.jp](mailto:envision@meltin.jp)

TEL：03-6427-6397 / FAX：03-6380-5069